

K

PRESS

こだわり滋賀ネットワーク通信
No. 21

2006. 9. 25 発行

発行：こだわり滋賀ネットワーク

〒520-8577 大津市京町 4-1-1

県庁環境こだわり農業課内

〒520-0807 大津市松本 1-2-20

J A 滋賀中央会生活広報部内

O D A W A R I

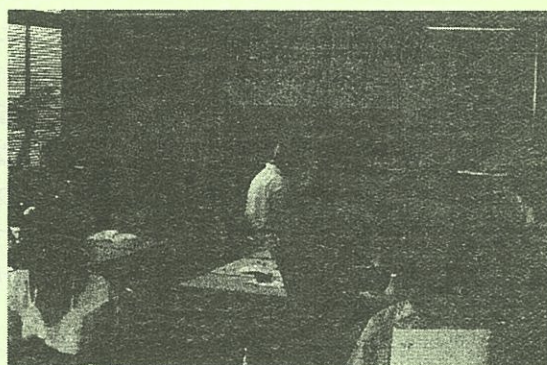
「食と農と環境を考える こだわり滋賀ネットワーク」会員の皆様へ

吹きぬける風も秋の気配色濃く、田や畑も収穫の季節となってまいりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。

さて、こだわり滋賀ネットワークでは、さまざまな企画がスタートしております。今後とも、みなさまの手で作り上げていく、こだわり滋賀ネットワークです。引き続き活発な活動をよろしく願いいたします。

●「湖国 美しい暮らしの人びと こだわりセミナー」

7月からスタートしました7回の連続講座も、すでに3回が終了いたしました。そこで今回は、受講された方の感想をご紹介します。



「湖国 美しい暮らしの人びと こだわりセミナーに参加して」

永田 純子

このセミナーの参加者が、定員の2倍に達する申込者の中から参加資格をいただいていたとは。

申し込んだきっかけは、毎日新聞社の塩田さん*の講座があったからです。

塩田さんとは、とある小さな講演会で初めてお目にかかりました。福岡で獄死した韓国の若い詩人に関するその講演会が、なぜか焼き肉屋で催されるという事にそそられたのです。

その後も、色んな所で塩田さんとお目にかかり、その度にお聞きした熱のこもったお話に触発されて、塩田さんが紹介された場所を訪ねたりしています。

第2回のセミナーで、大戸洞舎の松本さんが、「塩田さんのご縁でここに来る事に

なった」とおっしゃったのを聞いて、ああ、また塩田さん繋がりなんだなあ、と塩田さんが滋賀に居られた3年間での仕事の凄さを実感しました。

私は他府県から越してきたので、滋賀という全く違う環境に、最初とても戸惑いました。

最近では滋賀の自然を満喫した暮らしがしたい、と思っています。このセミナーでたくさんの出会いに毎回感動をいただいています。今後のセミナーも楽しみです。よろしく願いします。

*塩田敏夫さん(毎日新聞大阪本社総合事業局企画開発部長)の講座は12/2です

●**こだわり農業者とこだわり消費者の
「夏の大会」と「直売所北上応援団」**

8/12(土)、JR近江八幡駅をスタートし、湖周道路沿いの2ヶ所の直売所を訪問。その後、湖北町の大戸洞舎へ伺いました。直売所での環境こだわり農産物の応援や、大戸洞舎での野っばらフェスタ2006の様子について、参加された方々の感想をご紹介しますのでご覧ください。

「夏の大会」と直売所北上応援団に参加して」

中野 瑞夫

当日は、お盆直前、通り雨の降りかけている午後でした。

JR近江八幡駅を出発し、途中、「近江母の里」、「湖北みずどりステーション」に立ち寄り、「環境こだわり農産物」の販売推進・支援をさせていただきました。

いずれのお店も「認証マーク」の入った農産物が目に付き、「安心と安全」を感じました。

次に、自然がいっぱいの「大戸洞舎」で、日没間近の「ソバの種まき」、環境こだわり農産物を使った「畑のカフェ」、「野っばらコンサート」等々、夏の夜のひとときを心ゆくまで満喫させていただきました。

今後は、「こだわり滋賀ネットワーク」の拡大で、「地産地消」、「自然にやさしい自然の摂理に合致した循環型農業」の拡大を願うものであります。

最後に、このイベントを計画いただきました皆様に感謝申し上げるとともに、今回参加した会員が核となり、県民皆様の協力のもと、立派な環境の滋賀、琵琶湖の自然を美しい姿で後世に引き継がれることを心から願って、参加させていただいたお礼と感想とさせていただきます。

「夏の大会」と直売所北上応援団に参加して」

藤澤 知美

滋賀に住み始めて5ヶ月。「こだわり滋賀ネットワーク」との出会いは、私にとって、今生活している滋賀という地域の素晴らしさを新たに発見するきっかけとなっている気がします。

先日開催された「夏の大会」と直売所北上応援団では、こだわり滋賀ネットワーク事務局のみなさんと共に、野っばらフェスタ会場での畑のカフェの運営に携わることができました。

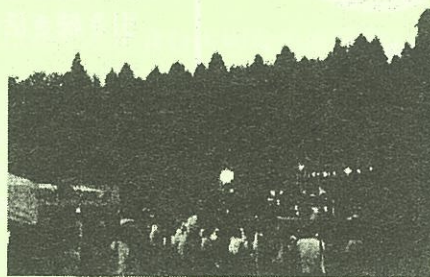
当日は、朝からカフェで提供するメニューの下ごしらえ等の準備をし、会場で大会参加者の皆さんやフェスタに訪れた方々にじゃがバター等の料理を召し上がっていただきました。

環境こだわり農産物で作った食べ物の美味しさと、上山田集落の夕暮れひととき、そのすがすがしさを参加者のみなさんと共に存分に楽しむことができました。

一消費者としてではありませんが、農業を大切にすることで、食物のみならず自然環境を育む農地と、人間の生活が調和している農村、その景観を維持していきたいと日々思いつつ、偶然出会ったこのネットワークに飛び込んでみました。

米プラザで毎月開催されているセミナー以外の企画に参加するのは今回が初めてだったのですが、今回、スタッフとして参加したことによる一番の収穫は、ネットワークに携わる皆さんをはじめ、多くの素晴らしい人々に出会えたことだと思えます。

まだ訪れたことのない滋賀の農村や、食と農に携わる様々な方々と出会えることを楽しみにしながら、今後もネットワークの活動に参加していけたらと思います。



「夏の大会」と直売所北上応援団に参加して」

富永 千弘

食や農に関わる機会があり、興味本位で、大戸洞舎松本さんのセミナーと、ご本人の湖北町上山田にある大戸洞舎現地での大会に参加し、運営スタッフとして参加させていただきました。

セミナーと大会を通して知ったことは、湖国の他の地域より生産効率に劣る山村で営農するには、また違った価値尺度で里(さと)を知る必要があり、それを文化で支持する必要があるということでした。

野っばらフェスタは、盆踊りのような参加型ではなく、あえてコンサートなどを見るフェスタ型にされ、私たちや地域住民も含め、来た人全員が飲食でき、個々に楽しめる企画とされたのも、とりあえず大戸洞舎を知ってもらおう機会をつくることを、意図されているのだと思いました。

大戸洞舎には、東京から来られた方や、大工や陶芸家の方々などが移住し、農業を含んだ、何か文化的なものを創り出そうとされているようでした。

もし、私が大戸洞舎で生活できるとしたら、どういう部分で私自身の能力を生かせるのだろうか、と考えました。

私だけでなく、他の参加者の方々も、今とは違った生活を考えておられたら、面白いだろうなあと、思いました。

そういった個々の意識の変化を、大戸洞舎の皆さんは期待されていると感じています。

●催しのお知らせ

『食べる・聞く・学ぶ 収穫祭』

日時：平成 18 年 10 月 21 日（土） 9:30~16:00

会場：道の駅・びわ湖大橋米プラザ（大津市今堅田）

収穫の秋を食べて、聞いて、学びませんか？

ネットワークでは、びわ湖大橋米プラザで開催される、「(仮)近江のこだわり農産物・わくわくフェスタ」に参画し、「食べる・聞く・学ぶ 収穫祭」を開催します。

当日は、ネットワーク団体会員がブースを設置し、環境にこだわった滋賀の農業を来場者のみなさんにPRし、生産者と消費者の交流も図ります。楽しい秋の一日を、是非一緒に過ごしましょう。

《内容》

- ・ ネットワーク団体会員による「こだわりお野菜エコクッキング」、「田んぼの中の生き物展」、「よし笛づくり&コンサート」、「こだわり農産物の販売」など。
- ・ その他「近江米PR」、「ちびっ子集まれ 親子おにぎり教室」、「野菜等県内農産物、加工品のPRと販売」、「有名ホテルシェフによる、環境こだわり農産物を活用した料理試食会『近江米とこだわり野菜の饗宴』500食」など

《運営スタッフ募集》

このイベントの当日の運営について4名のボランティアスタッフを募集しますので、ご協力いただける方は、別添申し込み用紙により事務局までお知らせください。作業内容等の詳細は、スタッフ決定後にお知らせします。

●催しのお知らせ

『滋賀の直売所・道の駅ふれあいフェスタ』

日時：平成 18 年 11 月 25 日（土） 10:00~15:00

会場：道の駅・びわ湖大橋米プラザ（大津市今堅田）

地産地消は直売所からはじめよう！

当ネットワークでは、環境にこだわった滋賀の農業について、消費者や事業者のみなさんにより理解していただくために、県内の直売所 30 店舗程度（予定）が一堂に会する交流会を、『滋賀県「道の駅」連絡会』と共同で開催することになりました。

各地の直売所から、地域のこだわりの逸品や、環境こだわり農産物が勢ぞろいします。各地の直売所を一度に体験できるチャンスです。ご参加をお待ちしています。

《内容》

- ・ 各直売所によるこだわり農産物、県産農産物、加工品等の販売や、特色ある商品の販売・PR
- ・ 「ご当地グルメコンクール」の開催※
- ※各直売所の逸品を試食してもらい、人気投票によるグルメコンクールを「こだわり滋賀ネットワーク会員限定(当日入会可、会費無料)」で開催します。【100食限定】

《関連イベント》

- ・ 環境こだわり農産物等を活用した料理試食会※
(滋賀県日本調理技能士会)
※有名ホテル料理人による、環境こだわり農産物を使った一流料理の試食会を開催します。【300食限定】
- ・ 環境こだわり農産物をはじめとした県産農産物を活用した食材加工品コンクール※ (滋賀県食品産業協議会)
※プロの加工業者が作った加工品の人気投票によるコンクールを行います。

《運営スタッフ募集》

このイベントの当日の運営について6名のボランティアスタッフを募集しますので、ご協力いただける方は、別添申し込み用紙により事務局までお知らせください。作業内容等の詳細は、スタッフ決定後にお知らせします。

●参加者募集！ 10月10日〆切

『楽しい秋の野菜収穫体験、こんにやく加工体験研修』

日時：平成 18 年 11 月 12 日（日）

会場：(有)小杉農園（東近江市五個荘竜田）

(有)香想庵（東近江市和南町）

えいげんじこんにやく道場（東近江市和南町）

紅葉美しい永源寺でのこんにやく作り体験と、五個荘の町並みにもほど近い小杉農園での野菜収穫体験(花の寄せ植え体験)で、秋の深まりを感じながら、農業に対する思いを深めませんか？

《行程》 ※交通事情により遅延する場合があります

◎Aグループ（JR大津駅発着）**先着 40名**

8:20 JR大津駅発 → 午前 小杉農園
→ 昼食(香想庵) → 午後 こんにやく道場
→ JR大津駅着 16:10

◎Bグループ（JR近江八幡駅発着）**先着 40名**

9:00 JR近江八幡南口発 → 午前 こんにやく道場
→ 昼食(香想庵) → 午後 小杉農園
→ JR近江八幡駅南口着 16:15

《個人負担のお願い》

今回の催しでは、次のとおり個人負担をお願いいたしておりますので、ご理解ください。

- ・ 小杉農園での季節の野菜収穫体験 **選択**
体験料：550円/人
※収穫した野菜をお持ち帰りいただきます
- ・ 小杉農園での季節の花の寄せ植え体験 **選択**
体験料：2,000円/人
※寄せ植えした花をお持ち帰りいただきます
- ・ こんにやく作り体験 **必須**
体験料：1,000円/人
※こんにやくいものすり下ろしから煮作業、型入れなどを順番に実施。こんにやくはお持ち帰りいただきます。

・昼食（池田牧場のこだわり弁当） **必須**

負担金： 980 円/人

＜注意事項＞

「こんにやく作り体験」と「昼食」については全ての参加者にご負担いただきます。また、「野菜収穫体験」と「花の寄せ植え体験」についてはいずれか一方、もしくは両方の選択制となっております。

よって負担金合計額はそれぞれ次のとおりとなります。

・「野菜収穫体験」を選択した場合 → 2,530 円

・「花の寄せ植え体験」を選択した場合 → 3,980 円

・両方を選択した場合 → 4,530 円

《参加者申し込みは》

「楽しい秋の野菜収穫体験、こんにやく加工体験研修」への参加を希望される方は、別添申し込み用紙に必要事項を記入のうえ事務局までお知らせください。詳しくは参加者決定後にお知らせします。

※A、B各グループ先着 40 名の応募となりますので、選にもれる場合がございます。ご了承ください。

※今年度に、これまで実施した企画の選にもれた方を優先いたします。ご了承ください。

《運営スタッフ募集》

このイベントの当日の運営について4名のボランティアスタッフを募集しますので、ご協力いただける方は、別添申し込み用紙により事務局までお知らせください。作業内容等の詳細は、スタッフ決定後にお知らせします。

●企画提案事業へのご応募、ありがとうございました！

今年度採用されました企画は、次のとおりです。

応募されたみなさまには大変窮屈な予算で実施していただくことになりましたが、最後まで精力的に取り組んでいただきますようお願いいたします。

企画団体名	主な活動内容
こうあんグループ	わらざうり製作
環境こだわり自主学习グループ「鳩の会」	地場食材を使った料理教室
こだわり農業写真パネル展	県内農業生産現場の撮影・展示
(株)サン愛ブレンド	枝豆刈り体験と講演会
稲と雑穀の会	古代稲と雑穀に関する学習
いのちを豊かにする会	日本食勉強会・講演会 (10カ所)
滋賀県消費学習グループ連絡会	食育をテーマとした講演会
栗東いちじく生産組合	環境こだわり農産物のPR
逢味おむすび隊	スポ少を対象に稲作体験
NPO子どもネットワークセンター天気村	食育ゲームの制作
甲賀もち工房	もちコンクールともちまつり
グリーン近江農業協同組合	食の学習会 (7カ所)

こだわり滋賀ネットワークが大切にしたいこと

- ・びわ湖をあずかっているこの湖国の自然の素晴らしさを守りたい
- ・環境にやさしい暮らし方
- ・住んでいる土地のもの、旬のものを食べるのがからだにいいとされる身土不二の考え方
- ・健康で持続可能な暮らしと食を子供達にきちんと伝えていくこと
- ・食べる力は生きる力
- ・全ての生物が共生できる環境をつくること
- ・農業は命や心を育む大切な生産活動
- ・人と人とのきずな
- ・わたしたちが今「本当に大切なこと」を再認識するためにすべきことは何だろうと常に考えていること

★ご案内

●隔月刊誌「チルチンぴと」39号(10/5発売:風土社)に、こだわり滋賀ネットワークの活動が紹介されます！

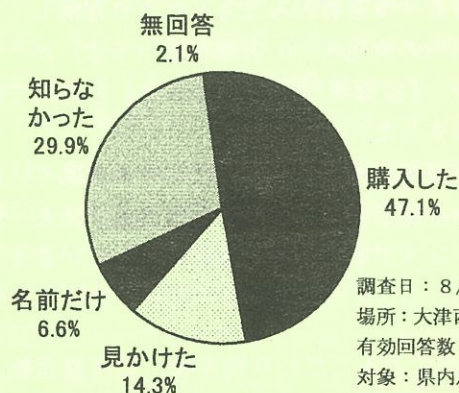
チルチンぴとは、「住まいは、生き方」をコンセプトとした生活マガジンで、これまでも、セミナー講師をしていただいた山崎隆さんの「麦の家」が何度も紹介されています。

今回は、「湖国 美しい暮らしの人々 こだわりセミナー」について取り上げていただき、簡単な紹介記事が掲載されることになりました。

各書店で販売されますので、是非ご覧ください。

●環境こだわり農業に関するアンケート調査結果

環境こだわり農産物認知度調査結果



県が実施した調査によると、環境こだわり農産物を「購入したことがある」もしくは「見かけたことがある」、「名前だけは知っている」と回答した人の合計が、約7割となっております。よりたくさんの人に環境こだわり農産物を応援していただけるよう、みなさんと頑張りしたいと思います。